

(財) 石川県埋蔵文化財センター  
担当：調査部国関係調査グループ  
電話：076-229-4477  
内線：6540

## 白山市宮保館跡・宮保B遺跡の発掘調査概要及び一般公開について

(財)石川県埋蔵文化財センターが発掘調査を進めている、白山市宮保館跡・宮保B遺跡の調査経過の概要について、以下のとおり公表するとともに、7月18日(土)午後1時30分から発掘調査現場を一般公開し、現地説明会を行います。

### ◆調査概要

#### 1 所在地等

- (1) 調査地 北陸新幹線建設事業用地内(白山市宮保町地内)
- (2) 委託者 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 鉄道建設本部 大阪支社
- (3) 受託者 石川県教育委員会  
調査担当：財団法人石川県埋蔵文化財センター
- (4) 調査期間 平成21年4月14日～同年12月下旬(予定)
- (5) 調査面積 7,900㎡

#### 2 調査の概要

##### 【調査区の成果】

宮保館跡・宮保B遺跡は鎌倉・室町時代(13～15世紀)に営まれた遺跡である。海側・山側の各調査区で堀、掘立柱建物、竪穴状遺構、土坑、溝、石列などを確認した。

##### [海側調査区]

- ・幅約4.5～5m、深さ約0.8～1mで、コの字状に巡る堀を確認した。屋敷地を方形に囲む一辺約40mの堀と推定され、方形区画の南側部分にあたりと考えられる。掘られた時期は15世紀前半頃と思われる。
- ・このほかにも堀や区画溝を検出しており、区画内に掘立柱建物や竪穴状遺構が集中して存在することがわかった。
- ・堀から、薄板に法華経を書き写した柿経が出土した。その他の主な出土遺物には、土師器、加賀焼、越前焼、珠洲焼、青磁、白磁、天目茶碗、漆器、火鉢、砥石、鉄滓、桶などがあり、鎌倉・室町時代のものが中心である。

##### [山側調査区]

- ・幅約4m、深さ約0.8～1mの東西方向に伸びる堀を確認した。
- ・竪穴状遺構は長方形と隅丸方形のものがある。大きさ約3～4m、深さは約30～50cmで、半地下式の貯蔵施設、あるいは生産にともなう作業場と考えられる。
- ・主な出土遺物には、土師器、加賀焼、越前焼、珠洲焼、青磁、白磁、漆器、火鉢、砥石、鉄滓、銭貨などがあり、鎌倉・室町時代のものが中心である。

### 【調査区の性格】

現在発掘調査を継続中である。屋敷地を囲む堀の区画内に掘立柱建物や竪穴状遺構などが存在することがわかった。また、堀の構造や規模が明らかになったことは成果である。

今後、遺構・遺物の検討や周辺遺跡の調査成果との比較検討を行うことにより、宮保館跡・宮保B遺跡の構造や変遷、遺跡の性格などの様相を明らかにしていきたい。

### ◆一般公開

#### 1 現地説明会

- (1) 日 時 平成21年7月18日(土) 午後1時30分～3時00分(小雨でも実施)
- (2) 場 所 白山市宮保町地内 宮保館跡・宮保B遺跡発掘調査現場
- (3) 目 的 宮保館跡・宮保B遺跡発掘調査の概要を公開する
- (4) 対 象 県民、考古学に関心のある方
- (5) 内 容 発掘調査の概要説明と出土品の公開

#### 2 主 催

石川県教育委員会・財団法人石川県埋蔵文化財センター

問合せ先

○石川県教育委員会事務局文化財課 埋蔵文化財グループ  
電話 076-225-1842(内線5628)

○財団法人石川県埋蔵文化財センター 調査部 国関係調査グループ  
電話 076-229-4477(内線6540)  
090-5173-0202(調査事務所)